

■ サンデンが描く地球環境保全

サンデングループは、「環境から企業価値を創造する グローバルカと品質力を基礎に環境をコアにして次の成長を果たす」という経営方針のもと、社会課題の解決に取り組んでいます。これは、「持続可能な開発目標(SDGs)」を視野に入れたグローバルレベルでの取り組みに対応するものです。



現在の社会生活の中で欠くことのできない自動車は、環境問題の解決もあり、ガソリン・ディーゼル車から、ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車(EV)、燃料電池車へと多様化してきています。

自動車機器事業においては、先進性と独自性、そしてグローバル対応力、環境負荷の少ない自動車の普及に寄与しています。自動車電動化に対応した電動コンプレッサーやヒートポンプシステム等により、地球環境保全と自動車産業の発展に貢献しています。



流通業界では、少子高齢化、食の安心・安全や食品ロス削減等が社会課題となっています。

流通システム事業は、店舗システムと自動販売機の分野を中心に、食品流通ビジネスを支えています。人手不足のニーズに応える飲料自動販売機や物販自動販売機、さらに、セルフ決済店舗であるマイクロマーケット(無人店舗)や食の安心・安全、食品ロスを軽減するために流通の各工程を切れ目なく温度管理する「コールドチェーン」をグローバルに展開することにより、社会課題の解決に取り組んでいます。

自動車機器事業

ハイブリッド自動車や電気自動車などの「環境対応車」の普及が進む中、自動車機器事業では、より快適な車内空間の提供と、環境保全を実現するカーエアコンシステムおよびカーエアコン用コンプレッサーの技術開発を進めています。

具体的には、電気自動車に対応したエンジンの駆動に依存せず快適な冷暖房空調が実現できる電動コンプレッサーや、オゾン層破壊係数ゼロの自然冷媒を使用したCO₂コンプレッサー、電気自動車の暖房使用時の走行距離低下を解決するヒートポンプシステム、アイドリングストップ時の空調システムIPC、電気自動車向けヒートポンプ空調水加熱ヒーターなど、環境対応と快適性の両立に貢献しています。

さらに、自動車各メーカーにおいて、燃費性能の向上が課題のひとつとなっている中、コンプレッサーの小型化・軽量化および省エネ技術の追求によって自動車の燃費を向上させるとともに、環境負荷の低減に取り組んでいます。



電動コンプレッサー



CO₂コンプレッサー



電気自動車向けヒートポンプシステム

流通システム事業

コンビニエンスストア向け製品・システム・サービスや自動販売機で培った既存技術に加え、温湿度モニタリングサービスをはじめとしたIoTで、新たな次世代ソリューションのグローバルでの実現を目指しています。

具体的には、生鮮食品などを産地から消費地まで冷凍・冷蔵の状態を保ったまま流通させる「コールドチェーン」を推進しています。貯蔵・運搬・販売の各工程で適した温度で管理しながら鮮度を保つ製品をはじめ、一貫した温湿度管理により、「安心・安全」を見える化した温湿度モニタリングサービス[e-mesh moderno] (イメッシュ モデルノ)を提供しています。これらの温度管理システムは、外食事業や医療分野へも領域を広げて展開しています。

また、人手不足解消のためのマイクロマーケット(無人店舗)を北米で展開するとともに、日本においては、物販自動販売機を使った無人店舗やセルフ決済店舗を展開し、省人化に貢献しています。

これらの新製品や新市場展開に加え、グローバルでのサービス・メンテナンス体制の強化を通じて、2017年度には韓国とタイにサービス・メンテナンス会社を設立しました。また、東南アジアの食の安全・安心にも取り組んでいます。



温湿度モニタリングサービス(e-mesh moderno)



マイクロマーケット(無人店舗)



鮮度をつなぐ「コールドチェーン」